



園児がコンビをつくって壇上で漫才を発表



マヌーさんのアドバイスで漫才の練習(上) フランポネの実演(下)



高校会議所

笑いでまちを元気に 西ヶ丘園児が漫才に挑戦

富士宮高校会議所は、このほど、「笑いで富士宮を元気に！」をテーマとした地域活性化イ

ベントとして、吉本興業の芸人を講師とした「漫才作成講座」を西町の西ヶ丘幼稚園で実施

した。2・5歳児約50人が参加し、「ポケ」と「ツツコミ」のコンビ漫才に挑戦した。講師は、国際漫才コンビ「フランポネ」(マヌーさん、シラちゃん)。

説明した。「ポケは愛な人、ツツコミはちゃん」としている真面目な人「野菜と安い、祖母とそば、ざるとサルなど、言い間違いを探してネタにしてほしい」などとアドバイスした。

園児らは2人1組になつて、それぞれの好きな物を組み合わせた芸名を付けた上で、ネタを考えたと。「なんでやねん」「もうええわ」という関西弁の決めゼリふも覚え、発表では「ごーもー」で始まる自己紹介とともに、楽しいやり取りで仲間を沸かせていた。

同会議所が主催する

「SDGｓコンテスト」にフランポネの2人が応募したのをきっかけに両者の交流が始まり、

3年前から漫才作成講座を実施。今年は、とがみえん・とがみ北児童クラブとA.C.C.

国際交流学園も対象とし、幼児から学生までの幅広い世代に笑いを届けた。